

北海道の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生(今シーズン2例目)！

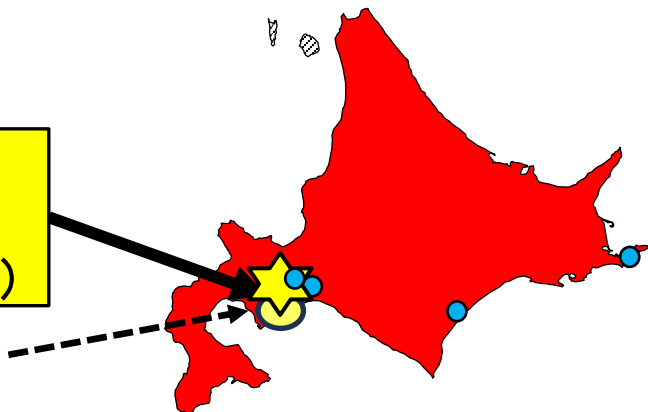
- HPAIウイルスは、国内北から南までに侵入しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和7年シーズン）

家きん飼養農場国内2例目

確認日: 11月2日
所在地: 北海道恵庭市
飼養状況: 約23.6万羽(採卵鶏)

◁ ○ 1例目 白老町 採卵鶏 45.2万羽
 現在、防疫作業実施中)



シーズン	発生件数	殺処分羽数	初発事例
R6	14道県51事例	932万羽	R6. 10. 17(北海道)
R5	10道県11事例	86万羽	R5. 11. 25(佐賀県)
R4	26道県84事例	1,771万羽	R4. 10. 28(岡山県)
R3	12道県25事例	189万羽	R3. 11. 10(秋田県)
R2	18道県52事例	987万羽	R2. 11. 5(香川県)

＜● 野鳥＞

北海道: 苫小牧、根室、
 浦幌、千歳
 宮崎県: 日南、延岡

HPAIウイルス検出。

【発生予防対策のポイント】



- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！